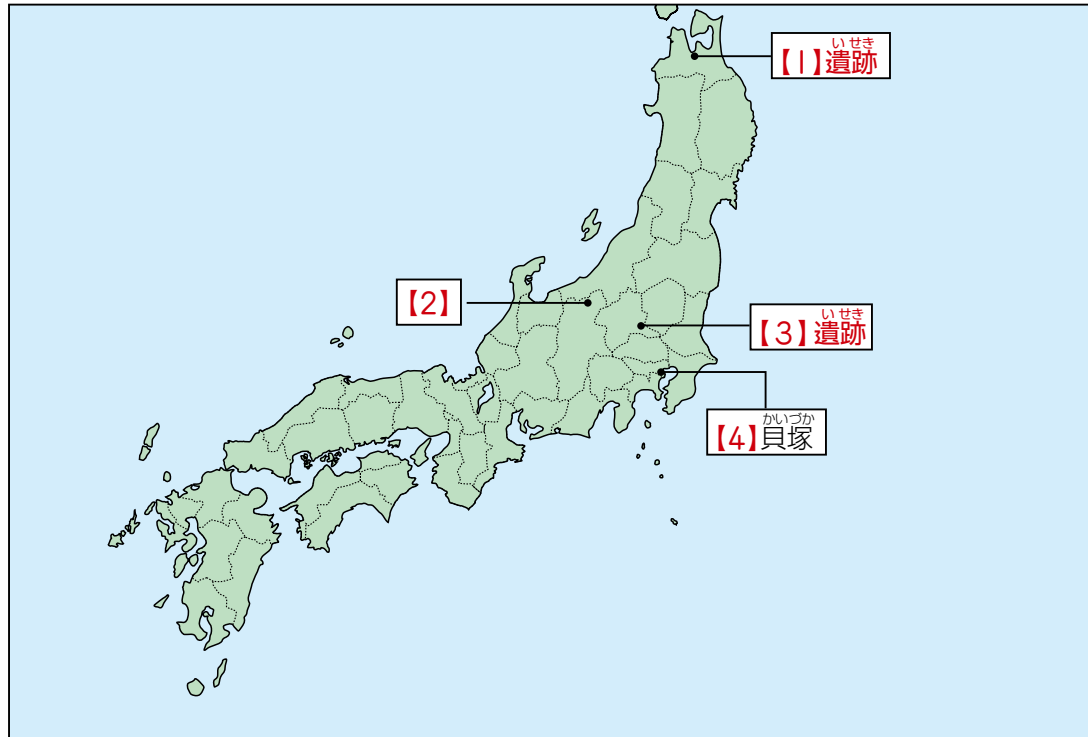


1 旧石器時代～縄文時代の主な遺跡

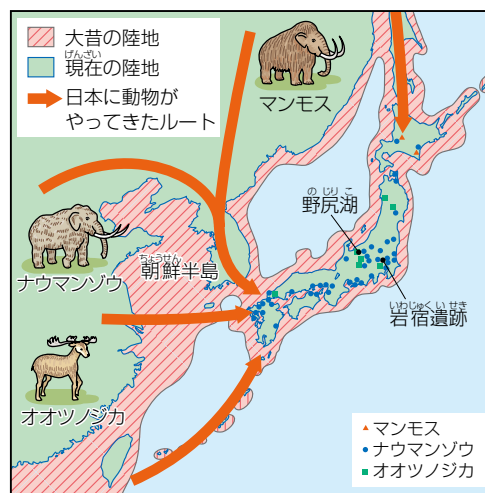
打製石器を使用していた旧石器時代や、縄文土器を用いるようになった縄文時代について、重要な発見のあった遺跡を中心に確認していきましょう。



旧石器時代～縄文時代の主な遺跡

旧石器時代の日本

- 旧石器時代…石をくだいてつくった【5】石器を使用しました。
- 日本列島は大陸と陸続きだったため、ナウマンゾウ・マンモス・オオツノジカなどを追って大陸から人々がわたってきました。
- 【3】遺跡（群馬県）…日本に旧石器時代があったことを証明した遺跡。相沢忠洋が発見しました。
- 【2】（長野県）…ナウマンゾウなどの化石や打製石器が発見されました。



大陸と陸続きだったころの日本

縄文時代の日本

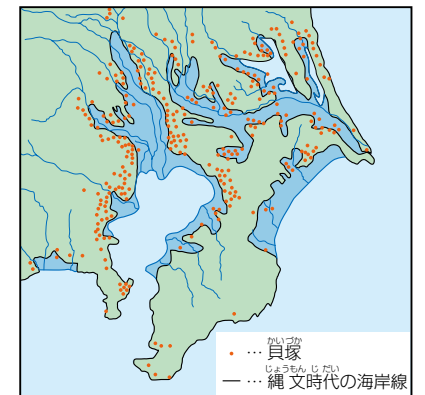
- 【6】時代…約1万2000年前から1万年以上続いた時代。【6】土器が作られ、狩り・漁・採集などを行って生活しました。
- 【1】遺跡（青森県）…約5500～4000年前の縄文時代の巨大な集落跡。最も人口が多かった時期には500人もの人々が住んでいたと考えられています。
- 【7】…縄文時代の人々が、貝がらなどの食べ物の残りかすを捨てた跡。アメリカ人の動物学者モースが発見した【4】貝塚（東京都）が有名です。

ポイント 遺跡の名前と発見されたものをセットで覚えよう！

- 旧石器時代 岩宿遺跡（群馬県）…日本の旧石器時代を証明
野尻湖（長野県）…ナウマンゾウの化石が発見された
- 縄文時代 三内丸山遺跡（青森県）…縄文時代の巨大な集落跡

✓ 貝塚の分布 …… さらにチェック！

【7】は水辺や海辺につくられたため、【7】の分布を調べることで、縄文時代の海岸線の様子を知ることができます。右の地図は関東地方の【7】の分布と、そこから予想される縄文時代の海岸線の位置です。現在よりも内陸まで海水が入りこんでいたと考えられています。



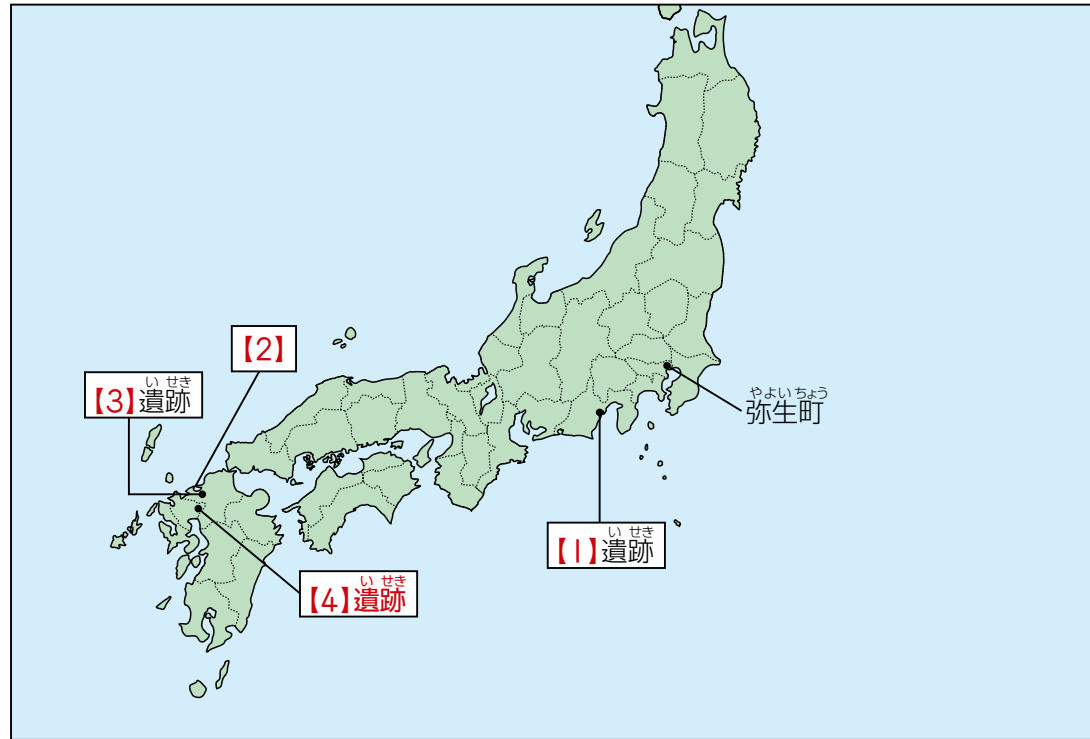
入試ではここが問われる！

- 旧石器時代では岩宿遺跡・野尻湖、縄文時代では三内丸山遺跡の位置がよく出題されます。都道府県名が問われることも多いので、地図上の位置と都道府県名をしっかりと覚えましょう。
- 貝塚の分布の地図を使用して考えさせる論述問題が出題されています。「貝塚の分布から海岸線の様子がわかる」という点をおさえて問題に取り組む必要があります。

弥生時代の主な遺跡



紀元前4世紀ごろ、中国や朝鮮半島から米づくりと金属器が伝えられました。弥生時代の主な遺跡の場所を、特徴とともにおさえましょう。



弥生時代の主な遺跡

弥生時代の日本

- **[5] 時代**…紀元前4世紀以前～紀元後3世紀ごろ。米づくりと金属器（鉄器・青銅器）が中国や朝鮮半島から伝えられました。
- **[5] 土器**…**[5] 時代**につくられた土器。弥生町（東京都）で発見された事から名づけられました。



米づくりが伝わった経路

弥生時代の主な遺跡

[4] 遺跡（佐賀県）	深いほりに囲まれた集落跡。物見やぐらや高床の倉庫などが発見された。
[2] （福岡県）	「漢委（倭）奴国王」と刻まれた金印が発見された。『後漢書』東夷伝に記されているものと推定。
[3] 遺跡（福岡県）	縄文時代終わり～ [5] 時代初めごろの米づくりの跡が残った遺跡。
[1] 遺跡（静岡県）	[5] 時代後期の米づくりの跡が残った遺跡。

ポイント 遺跡の名前と発見されたものをセットで覚えよう！

- 吉野ヶ里遺跡（佐賀県）…弥生時代の集落跡
- 志賀島（福岡県）…「漢委（倭）奴国王」の金印

邪馬台国と東アジア

さらにチェック！

3世紀、中国では魏・呉・蜀の三国が並び立つ三国時代をむかえていました。

『魏志』倭人伝には、**[6]**の女王**[7]**が中国の魏に使いを送って、「親魏倭王」の称号と金印を授けられたと記されています。

[6]の位置については、九州北部という説と大和地方（奈良県）という説があります。**纏向遺跡**（奈良県）は、**[6]**の跡と考えられている遺跡の一つで、この遺跡にふくまれる箸墓古墳は、**[7]**の墓であるという説もあります。



入試ではここが問われる！

- 弥生時代の遺跡では、吉野ヶ里遺跡と志賀島の位置がよく出題されています。志賀島については、位置と合わせて、金印に刻まれた文言や金印が伝わった経緯も確認しておきましょう。